

第6次富良野市総合計画

基本構想原案

パブリックコメント用

令和2年10月1日

総合計画について

「総合計画」は、地方自治体経営の最上位に位置付けられる計画で、中長期的な視点に立ち、新たな時代に対応できるまちづくりの指針となるものです。

総合計画は、中長期的なまちづくりの方向性と基本的な考え方を示す「基本構想」と、基本構想を踏まえて施策を体系的に示す「基本計画」から構成されています。

さらに基本計画は、特に力を入れて取り組む「重点施策」と、着実に取り組む「基本施策」に分けられます。

※人口減少克服・地方創生を目的とした次期「富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、「第6次富良野市総合計画」と密接な関係があるため、一体的な検討を進めています。

【基本構想】

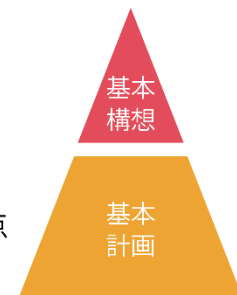
- まちづくりスローガン：まちづくりの方向性、合言葉
- まちづくりメッセージ：スローガンに込めた思い、コンセプトとのつながり
- まちづくりコンセプト：まちづくりの基本的な考え方、観点

【基本計画】

- 重点施策：基本構想の実現に向けた重要課題に対し、特に重点的・分野横断的に取り組む施策
- 基本施策：基本構想の実現に向けた各分野の主要な課題に対する施策

【期間】

- 基本構想：10年間
- 基本計画：前期2年、中期4年、後期4年



年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
計画期間	第6次富良野市総合計画 基本構想									
	前期基本計画		中期基本計画				後期基本計画			

第6次富良野市総合計画の構成

【素材】
「市民の声」「データ」等

創り出したい未来

現状の課題への
対応・対策

【A】
策定の前提・大切な視点

【B】
基本構想原案

「まちづくりスローガン」

「まちづくりメッセージ」

「まちづくりコンセプト」

【C】
基本計画 「重点施策」
「基本施策」

第6次富良野市総合計画

【A】「基本構想」

策定的前提・大切な視点

【A】総合計画策定の前提・大切な視点

1. 未来は創るもの／構造変化に対応する新スタイルへの移行

- ① 人口減少をチャンスととらえる
- ② 「柔軟性」×「スピード」
- ③ 「チャレンジ」を応援する
- ④ 「真剣さ」×「遊び心」による創造性



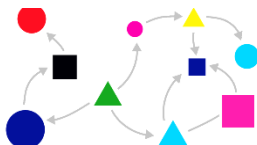
2. 「ひと」が中心であること

- ① 主役は誰か？
- ② 未来づくり人材が育つ環境とは？



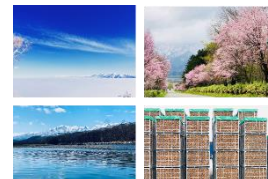
3. 「つながり」のアップデート

- ① 真の協働とは？
- ② 目の前の事象だけでなく、様々な要素のつながりを俯瞰(ふかん)し、好循環を生み出す
- ③ 未来を創るために、越境し、ボーダレスにつながる



4. 富良野らしいユニークさがあること

- ① 美しい風景・自然を100年後の未来に
- ② 先人たちの知恵・歩みをアップグレード
- ③ 地球の住人として富良野がリードできること



第6次富良野市総合計画

【B】「基本構想」原案

「まちづくりスローガン」
「まちづくりメッセージ」
「まちづくりコンセプト」

【B】基本構想原案「まちづくりスローガン」「まちづくりメッセージ」

まちづくりスローガン

「美しい」のその先へ。WA!がまち、ふらの

まちづくりメッセージ

富良野には、「美しい」がいっぱいある。

美しい「自然」、美しい「こころ」、美しい「くらし」・・・。

100年後にも残したい富良野にしかない「美しさ」。

もっとみがける。もっともっと創造できる。
まだ見ぬ「美しさ」。

ひとりが輝く。
つながることでさらに輝く。
輪になることで輝きつづける。

輪がひろがっていくことで、
予想もできない『わっ!』が起こるかも。

そんなふらのに住みつづけたい。そんなフラノとつながってみたい。そんなFuranoを感じたい。

「美しい」のその先をみんなで見にいこう。

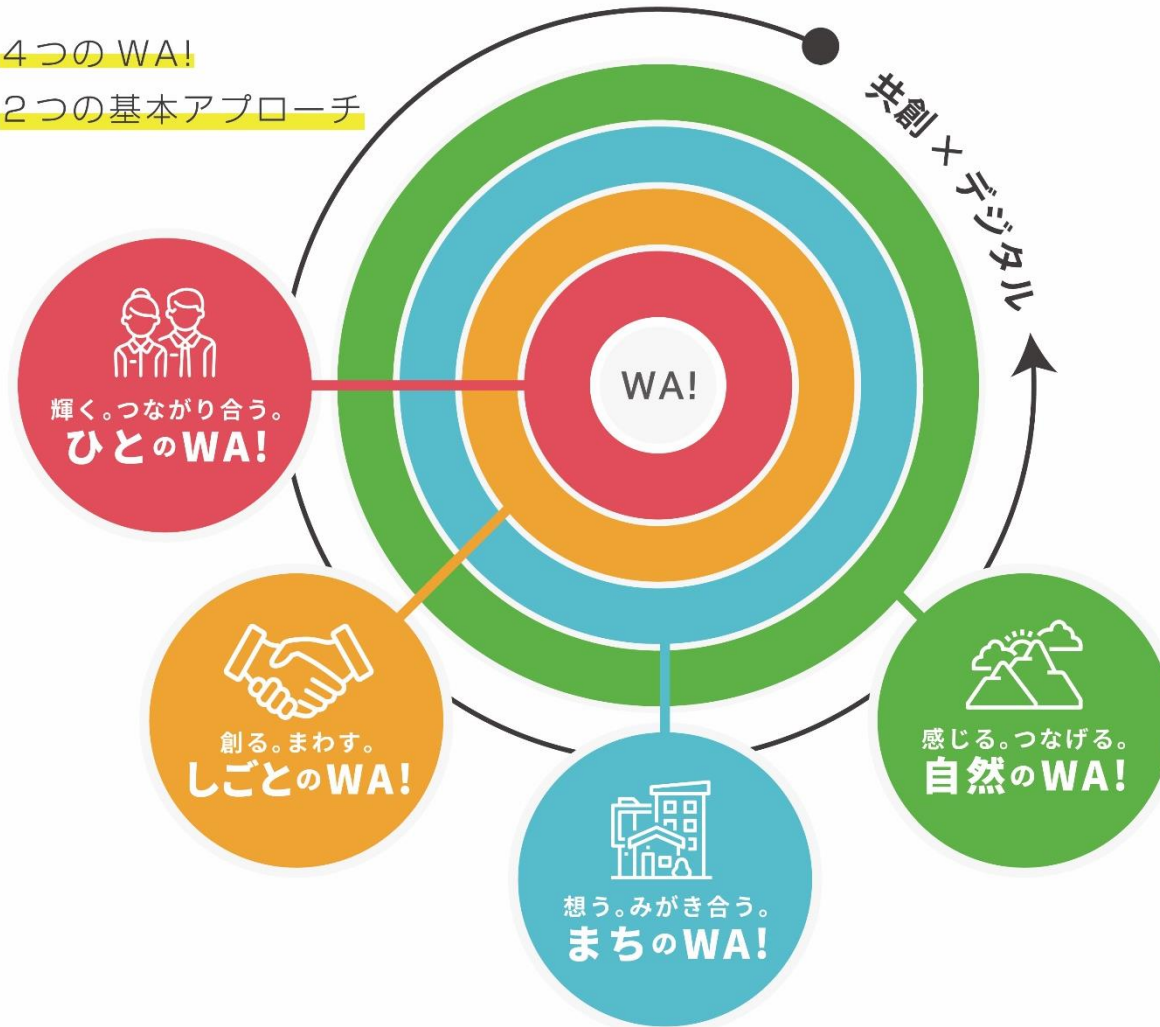


【B】基本構想原案「まちづくりコンセプト」

まちづくりコンセプト

4つのWA!

2つの基本アプローチ



WA!

つながる（輪）

驚き（わっ!）

循環する（環）

やさしい（和）

誇れる（我が）

【B】基本構想原案「まちづくりコンセプト」

まちづくりコンセプト

4つのWA!



輝く。

ひとりひとり、違っていい。
あらゆるひとが、輝きを増すように
支援・応援し合う。

**つながり
合う。**

枠を越えてつながり合うことで
新しい輝きが生まれる。



創る。

新たな付加価値を創造する。
新しいしごとを創り出す。

まわす。

地域を越えて
「ひと・カネ・価値」の循環を
創り出す。



想う。

現在、過去、未来。それぞれの地域。
富良野が持つ魅力を大切に想う。

**みがき
合う。**

大切にしてきたものをみがき
合い、新たなスタイルを創造
する。

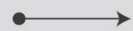


感じる。

恵まれた自然から受ける恩恵を
感じる。小さな環境の変化を見逃
さない。

つなげる。

豊かな自然環境を未来へつなげ
る。新しい価値へとつなげる。



共創

複雑な課題に対しあらゆる枠を越えて
「共創」することで新たな一歩目を創り
出す。

デジタル

持続可能なまちづくりに向けて、
「データ」や「テクノロジー」の利活用を
推進する。

2つの基本 アプローチ